



日本舞踊の体験教室



競技かるたの体験教室



能と狂言の体験教室



俳句の体験教室



剣舞の体験教室



煎茶道の体験教室



お箏の体験教室



将棋の体験教室



生け花の体験教室

大津市伝統文化親子教室事業の担当者にお話を伺いました

参加申し込みは1ヶ月位前に締め切り、各教室が年齢層に合わせて構成を考えたりする時間を取っていただけるようになっています。



能と狂言、剣舞、日本舞踊で使用する白たびを貸し出し用で準備

■ イベントを開催するにあたっての苦労などは
9つの教室の先生方に声を掛けて調整するのが大変でした。準備する物も考えて実際に教室が実施できるのか？どうかを考えました。今回は剣舞を入れましたが、剣で能舞台が傷つかないかなどの心配がありました。顔ぶれを昨年度とは変えて、子ども達の興味を別の物にも広げてもらえる様に競技かるたや剣舞を追加しました。
90分1回だけの短い体験でまずここで「楽しかったな！またやってみたいな」とできるだけ感じ取っていただけるように体験内容も初心者向けにしており、道具も基本的に手ぶらで来ていただいても貸し出しができています。

教室実施型の実績がない団体に参画を依頼した時は必ず教室実施型の内容をお知らせして使ってもらえるように案内しております。

■ 参加募集について
紙媒体のチラシを市内の小中学校で配布したり、市のホームページに掲載しました。他にも大津市の公式LINEで配信したURLから申し込みサイトにアクセスできるようにしました。また、読者が多い大津市の広報誌「広報おつ」に掲載しました。アンケートでは「広報おつ」を見て参加された方が一番多いかと思えます。
■ 教室ほどに選定されましたか？
まずはこの事業の趣旨を考慮して申請をいただいている団体にお話をします。他にも昨年のイベント時のチラシを見ていただいたり、また市内の近江神宮が「かるたの聖地」と呼ばれているので、そこで活動されている競技かるたの団体をお願いしました。
すべての団体が教室実施型ではありませんので、選定する時に色々な配慮をして選定しております。



大津市 市民部 文化振興課 梶原 大介

■ 教育実施型申請中の団体について
昨年初めて将棋教室を入れまして、その教室の主催団体が「伝統文化親子教室事業」の存在を知らなかったのですがこのイベントをきっかけに次年度の伝統文化親子教室事業の教室実施型に申請を上げております。
■ 今後の展望について
市が携われるのは基本的にはきっかけ作りまでかなと思っています。各団体に任せなければいけないので、その橋渡しが市としての役割と考えます。
習い事として月謝を払って続けていくのもひとつの道であるし、教室実施型の教室で半年度体験をしていただくのもひとつの方法です。「どちらもありますよ！」と紹介していきたいと思っています。
続けていく内に担い手の先生方との関係が何とか作れてきたのかなと思っています。

イベント内容

- 対象：小学生～中学生 及び 付き添いの保護者1名
- 会場：大津市伝統芸能会館
- 教室名：
 - 能と狂言をやってみよう
 - 親子俳句教室
 - お箏を弾いてみよう
 - 剣舞体験教室
 - 煎茶道体験教室
 - はじめてのこども将棋教室
 - 日本舞踊体験教室
 - 親子いけばな教室
 - 競技かるたをやってみよう

※1人につき2教室まで体験可
(内：教室実施型団体：2団体
次年度の教室実施型申請中1団体)
教室参加者：全体で延べ 80人

概要

大津市は、2021年より継続して事業が採択されています。2025年2月には子どもたちが短時間で気軽に伝統文化を体験できる場として、教室実施型団体が2団体、次年度の教室実施型申請中の団体を含む9つの団体が体験教室を行うイベントを開催しました。



能舞台がある大津市伝統芸能会館

継続して採択されている地域展開型事業。
大津市伝統文化親子教室事業

次年度の教室実施型申請中の団体も参画



指導対局風景

【1さん】小学4年生
将棋は何も知らなかったのですが1週間前に母と一緒に将棋の勉強をして参加しました。今日はルールとか次の動きなど難しかったけど勝たせてもらえて楽しかったです。続けていきたいです。



将棋の体験教室



公益社団法人 日本将棋連盟 大津支部長 三宅 英治

これまでは10年以上に渡り個人的に将棋の普及に努めておりましたが、昨年度より日本将棋連盟の大津支部として発足しましたので、子ども教室を将棋連盟として行う事になりました。次年度の伝統文化親子教室事業に申請を上げておりまして、これからも将棋の普及に努めたいと思います。

親子いけばな教室 活動風景



体験教室風景

先生の指導に従って、時間内で1つの作品を仕上げます。



体験教室風景

水盤、剣山、はさみは教室が準備し、参加者はふきん、新聞紙などを持参。お花代として参加費1,000円を徴収して教室を行います。



体験教室風景



体験教室風景

体験教室に参加された方にお話を伺いました



【Sさん親子】
小学2年生

生け花の仕方を教えてもらいたかったのが参加しました。これからもチャンスがあったらやってみたいです。勉強になりました。ありがとうございました。



【Tさん】小学6年生

古い伝統文化が好きで参加しました。家では何も解らないので自分の好きな様にしていただけると、今日ここに来たら「枝はこっちにやっただ方が良いんだな」とかいうことが解ったので良かったです。これからも伝統文化に触れていきたいと思っています。



【Kさん親子】
小学6年生

色々な経験をしたいと思っていて、タイミングよく見かけたので参加しました。これからも色々な伝統文化を体験したいなと思っています。

連携した教室実施型の団体の方にお話を伺いました



大津伝統文化事業実行委員会 講師 堀川 靖霞

■主な告知活動について
基本的に各学校でチラシを配ってもらう募集をしております。

■カリキュラムについて
普段は華道を中心としておじぎなどの礼儀作法を教えたり、季節感を取り入れながら生け花を教えます。

■苦労することは
最近ライフスタイルが変わってきているので、和室(床の間)がなくなってお花を飾る場所がなくなっています。正座をすることがなくなっているのが、お花の生け方が変わってきているのが難しい所です。

■嬉しかった事
年に一回発表会をするのですが、まったく関係のない観光客の方が子ども達の作品を見て「綺麗だね」とおっしゃっていただけなのが嬉しいことです。

■伝統文化の継承について
まず、お花に親しんでいただき興味を持っていただくことから始めて、今は無くなってきている日本の伝統文化を伝えていきたいと思っています。

■体験イベントと教室の連携について
今後も体験したいというお子さんがいるなら極力協力して、企画したいと考えております。

お箏を弾いてみよう 活動風景



体験教室風景

箏一張りに1人の補助講師が付いて、2人の子どもを担当して体験してもらいます。



体験教室風景

超初心者向けのテキストと印を付けた箏を準備。2人で一張りの箏を使用して、交代で練習します。



体験教室風景



体験教室風景

日本人に馴染み深い曲の『さくら』を練習して時間内に弾けるようにします。



体験教室風景

講習を聞いていた保護者の方にもお箏を弾いて感触を楽しんでもらいました。

体験教室に参加された方にお話を伺いました



【Iさん親子(真中はTさん)】
小学1年生

今日は友人に誘ってもらって参加しました。ちょっと手が痛くて疲れたけど琴にふれられて楽しくて良かったです。チャンスがあればまた参加したいと思っています。



【Tさん】小学1年生
今日は友人に誘ってもらって参加しました。ちょっと手が痛くて疲れたけど琴にふれられて楽しくて良かったです。チャンスがあればまた参加したいと思っています。



【Tさん親子】
妹・小学2年生
姉・中学3年生

妹 楽しい！めっちゃ面白かった！もっとやってみよう！
姉 参加して楽しかったです。
母 なかなかこの様な和楽器に接する事がなかったので、今年は別の体験教室に下の子が参加していましたが、今年は中学生もOKだったので、姉妹で申し込みをしました。伝統文化親子教室の事は全然知らなかったのが、機会が合えばそちらの方にも参加してみたいと思います。

連携した教室実施型の団体の方にお話を伺いました



生田流正派 湖都美会 主催 福永 雅楽美津

■伝統文化親子教室について
1年に13回、15回の教室では専用テキストを使用して、何曲かをマスターして最後の発表会で披露するようにしています。

■主な告知活動について
学校などでチラシを配りますが、協力的な学校では先生から直接生徒さんに配っていただけられるので、ただ置いてあるだけの学校よりも反応が良いです。

■これから展望
発表の場を多く設けて子ども達の意識を高め、すそ野を広げようと試行錯誤しております。

■体験イベントと教室の連携について
今回は何名かの保護者の方に興味を持っていただけて質問されましたので自分の教室についてご案内をいたしました。このような体験教室で興味をもっていたらいい時、すぐに伝統文化親子教室のご案内ができれば参加してもらえらると思うのですが、期間が空いてしまいたいタイミングが合わずにそこまで繋がらないのが残念です。

伝統文化親子教室が始まるまでの間に興味を繋ぐ何かもうひとつのきっかけを設ける工夫をしなければと思います。